



プレスリリース No. 15/517
即時解禁
2015年11月16日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

ラガルド氏、G20 アジェンダの完全実施を要請

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は、トルコ・アンタルヤで開催されていた 20 カ国・地域首脳会議の閉会にあたり以下の声明を発表した。

「我々はパリへの悲惨な攻撃の直後にアンタルヤで会議を開催した。攻撃の犠牲者、遺族及び関係者に対し衷心より哀悼の意を表す。G20 首脳は、フランス国民との強い連帯の意とテロとの戦いへの揺ぎないコミットメントを表明した。

世界経済は、2015 年に緩やかではばらつきのある拡大を見せた後、来年には 3.6%と 2011 年以降で最も速いペースで成長する見込みである。米連邦準備制度理事会の金融政策の正常化、中国の成長モデルの再調整、及び 10 年に及んだ一次産品のスーパーサイクルの終焉という三つの大きな転換が見通しの重石となっている。一連の政策のアップグレードがこうした転換の管理に有益である。

今日の成長を促進する：大半の先進国・地域による緩和的な金融政策による需要の下支えと状況が許す国や地域による財政政策での支援を組み合わせる。

強靱性を強化する：規制改革課題を完了することで金融部門を強化する。

未来を守る：昨年ブリスベンで合意した G20 の成長戦略を実施する。IMF の評価によると公約した措置の約半数が既に実施されているが、私は同分野に一段と重点を置くよう要請した。また、2025 年までに G20 諸国の若者の失業を 15%削減するというコミットメントを歓迎する。これはジェンダーギャップを 25%縮小するとした 2014 年のコミットメントに続くものである。

G20 は持続可能な開発目標 (SDGs) 及びその資金に関するアディスアベバ行動計画への強力な支援を表明した。IMF は、低所得国への金融支援と政策助言を拡大することで、この取り組みに参加している。

以上に加え G20 は現在の難民危機と移住の動きについても議論し、国際社会はこれに伴う複雑な問題への対処で連携しなければならないと強調した。IMF はこの取り組みを支援する。

アンタルヤ行動計画は、気候変動や国際課税及び国際通貨制度の改革など、今日世界が直面している試練への対処で国際協力が重要であることを明確に示している。後者については、私は予定されている IMF の特別引出権 (SDR) の見直し、及び中国元を SDR バスケットに含むべきだとする IMF スタッフの提言について言及した。私はこの提言を支持する。IMF の理事会は今月末にこれに関する決定を下す予定である。

IMF のクォータ及びガバナンスについては、私は 2010 年の改革の早急な批准を引き続き強く求めていくと述べた。

最後に、エルドアン大統領及びトルコ当局の 1 年を通じた G20 議長国としてのリーダーシップと歓待に感謝する。2016 年に議長国を務める中国との協力に大いに期待している」